

平成 24 年度事業計画

(平成 24 年度事業期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、我が国の経済及び国民生活に未曾有の大被害をもたらした。資材の高騰や東京電力の停電実施等、直接当センターの運営にも影響がみられた。また、農林水産省からの委託事業についても高額な震災復興費の捻出のため、年度当初には中止になるのではないかと危惧されたが、結果的に何とか 2 件の委託事業の確保ができた。今後とも厳しい状況が予想され予断が許されない環境にある。総務省・文科省が支援して開催される「スポーツ拠点づくり事業」による「全日本ジュニア障害馬術大会」また、「全日本ジュニア総合馬術大会」等の日本馬術連盟主要競技の支援や各種大会を継続して誘致するなどして、当施設の有効利活用を図っていく。さらに、地域スポーツや文化の振興を図る為に、北杜市が開催する「ホースショーインこぶちざわ」のお祭りや、人による「北の杜ウォーキング大会」・「クロスカントリーマラソン」等にも継続して支援していく。

こうした中、従来からの懸案であった公益財団法人への移行も平成 23 年 11 月 16 日に移行認定申請を行い、平成 24 年 2 月 10 日に山梨県公益認定等審議会から認定基準に適合しているとの答申があり、平成 24 年 4 月 1 日付で公益財団法人として、新しい第一歩を踏出すことが出来ました。

併せて、県からの補助金による馬術競技場機能整備向上事業により、多目的棟等の整備、障害馬術場の排水機能改善や、日本国内でオリンピック予選会認定となるスリースターレベルのポータブル野外障害物の整備を行いましたので、馬事技術の普及・優良乗用馬育成供給により一層努力してまいります。

平成 24 年度は次のような基本方針により当センターの運営を進める。

- (1) 既存事業の充実により事業収益を向上させ、更なる運営経費の削減により県からの財源支援に頼らない自立的な経営を図る。
- (2) 利用者のニーズに応えられるよう、職員の意識改革と利用しやすい施設の改善に取り組み、サービスの向上を図ると共に、今後一層の情報公開を図っていく。
- (3) スポーツ振興の観点から、新たな事業に積極的に取り組む事により増収を図り、自立性や公益性を一層高める。

1. 公益目的事業

1. 山梨県馬術競技場施設の有効かつより高度な利活用を図るため、大会開催者に会場を提供し全国レベル、県レベルの各種大会の開催への支援、また、県内外の大学・高校・その他の合宿や講習会の受け入れを行う。

① 馬 術 大 会 (別紙参照)

(イ) 県 外

一 般 5 回 学 生 4 回

(ロ) 県 内

一 般 8 回 少 年 1 回

②合 宿 訓 練

日本馬術連盟総合馬術合宿

各県馬術連盟合宿

山梨県馬術連盟強化合宿

各県の乗馬クラブ等合宿

各大学・高校馬術部長期合宿

③ J O C (日本オリンピック委員会) 競技別国内強化拠点としての利用。

ロンドンオリンピック大会の馬術競技の強化拠点として J O C より継続し認定されている。

今年度も総合馬術ナショナルチームの合宿等、強化対策に幅広く活用できる体制を整備する。

④トレッキングの受け入れ

小淵沢の美しい自然に恵まれた「まきばの郷事業」のトレッキングコースを利活用し、乗馬関係団体等の企画する乗馬外乗ツアー及びトレッキング大会を受け入れ、また、人間のウォーキング大会やクロスカンントリーマラソン等の生涯スポーツの普及に協力する。

⑤馬事振興に寄与すべく、優良乗用馬育成供給や、競技成績のすぐれた繁殖牝馬を繋養して優良な繁殖種牡馬による交配を行い、継続して生産育成をする。

1. 優良繁殖牝馬

福姫号

マイヴィーナス号 凜号

2. 優良繁殖種牡馬

ケイエン号

ハルコンデラパラ号

元気号 (3 歳)

⑥委託事業として山梨県所有の県有馬 6 頭の飼育管理と、乗馬の調教を行う。

1. 県有馬 6 頭の委託を受けて飼育調教を行う。 県有馬名簿一覧表

馬 名	種 目	産 地	年 齢	色	性 別
富 士 山	馬 場	オ ラ ン ダ	21	黒鹿毛	セ ン
ヴィクセン	障 害	北 海 道	9	芦 毛	牝
メープル	障 害	オ ラ ン ダ	13	黒鹿毛	牝
シリウスランド	障 害	北 海 道	18	鹿 毛	セ ン
エターナルブレス	障 害	北 海 道	5	栗 毛	牝
サンレインボー	複 合	アイル ランド	14	青鹿毛	セ ン

⑦主催行事の開催

2012 山梨グランプリを日本馬術連盟公認競技会として主催し、馬術の普及並びに技術向上を図ることを目的として実施する。

主 催 (公財)山梨県馬事振興センター

後 援 日本馬術連盟 全国乗馬倶楽部振興協会

山梨県馬術連盟 山梨地区乗馬倶楽部振興会 ホースマンクラブ

- 1.参加頭数 2008年 参加頭数 68頭 2009年 参加頭数 105頭
2010年 参加頭数 130頭 2011年 参加頭数 111頭
- 2.競技種目 障害競技L級D～M級Aまで 21 競技実施

2. 収益事業

①スポーツホース預託調教受入事業

我が国のスポーツホースのレベルアップを図ることを目的として、県内外の競技馬を対象に当センター職員による能力アップの為の調教を受託する。

②農林水産省からの委託事業について、(財)畜産生物科学安全研究所と共同で、動物用医薬品に係る各種試験事業に協力していく。

3. その他

①経営計画の見直し(自主財源確保・経費削減)

②山梨県馬術競技場施設景観維持の為、年間を通じて施設の保全に努める。

③馬事普及のための施設利用

乗馬愛好者及びハンディキャップのある方々への施設開放や写生大会、北杜市小中学生の遠足や見学を受け入れて開放し、乗馬の啓蒙を図る。

④場内公園化の推進

ユニバーサルデザインを考慮した、花と緑の豊かな馬の競技場を目指して整備を進める。(構築物の塗装・植栽・ベンチの設置・観客席・馬場への砂補充等)

⑤その他の催し

CM・テレビ・映画・地域の馬の祭典等への開放

⑥上部加盟団体との連携を行う。

(公社)日本馬術連盟主催大会の誘致や競技馬の登録

(公社)日本馬事協会繁殖種馬の登録や貸付及び繁殖研修会への受け入れ。

⑦totoの補助金を研究したり、広く広告協賛を募り、新たな収入確保に努める。